

# 井の口まちづくり会通信

井の口まちづくり会 設立・平成20年3月23日  
 発行・平成21年9月20日・第4号通信  
 責任者・堀 達夫(井の口まちづくり会会長)  
 〒500-8003 岐阜市大宮町1-17 ☎058-263-9540  
 事務局長・河崎良史  
 E-mail・malo@he.mirai.ne.jp

## ぎふ大仏フェスティバルに「ミナモ」君登場



ミナモ君とじゃんけんをする子どもたち

### 大仏さまも思わずにっこり

今年で22回目を迎えた夏の風物詩「大仏フェスティバル」が7月19日(日)、20日(祝)の両日に行われました。地元子ども会、ふれあいクラブ(老人会)、婦人会による手づくりの行灯が飾り付けられ、自治会、婦人会、大仏殿付近の町内の方々との協力による、かき氷、みたらし団子、とうもろこしなどの屋台が揃い、境内からあふれんばかりの大勢の人で賑わいました。

19日には、3年後に開催される「ぎふ清流国体」のマスケットキャラクター「ミナモ」が登場。詰めかけた大勢の子どもたちとミナモ君が、キャラクターグッズの争奪じゃんけんをして会場が盛り上がりました。

井の口まちづくり会はこのフェスティバルに昨年から協賛し、イベント部会が子どもたちのゲームを担当しています。今年も子どもたちも楽しんでいる「じゃんけん」と「伝言」を使ったゲームを用意しました。

初日は「つながり電車じゃんけん」。じゃんけんに負けた子は勝った子の後ろにつながついていき、最後は50人ほどの長い列(電車)の先頭の子も二人、自分の列の勝利をかけてじゃんけんをします。決戦は真剣そのもの、大きな声援と掛け声とともにその一瞬に挑みました。続いて「お話し伝言ゲーム」をし、子どもたちはそれぞれの賞品を手に大喜びでした。20日は「両手じゃんけんゲーム」と背中文字を書いて次の子に伝える「書き文字伝言ゲーム」を行いました。子どもたちのじゃんけんの声に、大仏さまも思わずにっこりされたことでしょう。

## 平成21年度総会に出席ありがとうございました

井の口まちづくり会会長 堀 達夫

井の口まちづくり会も2年目を迎えることとなり、去る5月17日(日)、岐阜市歴史博物館講堂にて総会を開催いたしました。あいにくの天候不良で、沢山の会員の皆さまに出席していただけなかったものの、細江岐阜市長の臨席を賜り、激励の言葉を頂戴することができました。

昨年度は地域の歴史勉強会、まち歩きイベント、井の口マップの製作等を実施しましたが、本年度は研修旅行や各種イベントの開催、さらには地域の風景・景観問題への新たな取り組みを通じて、安心して暮らすことのできるまちづくり、魅力あるまちづくりの実現をめざして活動して行く方針を、満場一致で可決し終了いたしました。引き続き、元金華小学校校長の八神武夫氏に記念講演をお願いいたしました。



### 総会特別講演(第3回勉強会) 肌で感じた井の口の魅力



元金華小学校校長 中部学院大学短期大学部講師 八神 武夫 氏

金華小学校の校長時代を通して、さらにもこの金華地区への愛着は深まるばかりと八神元校長は冒頭で語りました。

そしてこの地域に暮らす私たちに、金華山、岐阜城を心のよりどころとして、由緒ある歴史や町並みなど、自然、歴史、文化の宝庫ともいえる「井の口」に誇りを持つことがまず大切であると訴えられました。

続いて、斎藤道三と織田信長の関係、常在寺と斎藤家、妙照寺と松尾芭蕉、ぎふ大仏など、数々の隠れたエピソードを豊富な資料に基づいて分かりやすくしかも楽しくお話ししていただきました。それぞれが興味深く、八神元校長の豊富な歴史観を伺うには時間が短く感じられました。

講演の終わりに「慈善はまずわが家から」というイギリスの諺を引用され、併せて「井の口の心は、もてなしの心である」とも言われた言葉が印象的であり、この素晴らしい地域に暮らす誇りと喜びを実感したひとときでした。

### 役員と区域自治会長紹介

#### 新入役員を追加

21年度総会において2名の役員が追加承認されました。ここで改めて全役員を紹介いたします。

- 会長 堀 達夫
- 副会長 堀 智仙 杉山 秀子
- 事務局長 中村 末雄
- 会計 河崎 良史
- 幹事 北川 英生
- 安藤 幸延 杉山 範彦
- 鈴木美美子 高橋紀久子
- 武井 英男 吉田 尚弘
- 伊藤いづお

- 会計監査 杉山 周三 名和 利夫
- 相談役 吉田 好成 高橋かずえ
- 小林 孝夫

- ※ゴシック体が新入役員名
>
- 区域自治会長のお名前
- 佐野治道(大宮町1) 杉山鉦一郎(大宮町2) 嶋 敏彦(木挽町)
- 水谷利良(山口町) 船戸秀郎(益屋町)
- 荻野哲男(上茶屋町) 大島寿夫(下茶屋町) 井上哲雄(今町1)
- 安藤春之(今町2) 大西進(松下町) 野村正伸(松山町)
- 川田憲司(夕陽ヶ丘) 藤田睦男(夕陽ヶ丘県営住宅) 中村末雄(松ヶ枝町北)
- 坂井正治(松ヶ枝町南)
- 高木 健(今町3) 吉田昌市(今町4)
- 山田達夫(大仏町) 野々村久雄(梶川町) 敬称略・順不同

## 平成21年度の部会活動とメンバーの紹介

21年度の部会活動がすでにスタートしています。下記にメンバーを紹介していますが、まだまだ私たちと活動していただける会員の皆さんを募集中です。一緒に楽しくまちづくりをしましょう。

イベント部会は昨年同様、大仏フェスティバル、岐阜公園イルミネーションへの協力と2月に井の口寄席を実施し、新企画の句会の催しに参加します。まちの歴史探索部会は、句会を実施するために句碑巡りや俳句の勉強会を行います。新設のまちの風景検討部会は、他地域のまちづくりを訪ねる視察研修を実施し、都市計画道路拡幅の勉強会を開催します。広報通信作成部会は井の口まちづくり会通信の4号、5号を発行します。

また、10月17日に開催される「御鯨街道ウォーク」には、全部会メンバーと役員、事務局で参加協力していきます。

### ●イベント部会

- 杉山 秀子(◎) 河崎 良史(○)
- 高橋紀久子 高橋かずえ
- 伊藤いづお 森 勝彦
- 後藤 勝利

### ●まちの歴史探索部会

- 中村 末雄(◎) 北川 英生(○)
- 杉山 周三 安藤 幸延
- 杉山 範彦 鷺見 善治
- 鷺見 玲子 塚原 紀好
- 宇野 正雄 山下寿太郎

### ●まちの風景検討部会

- 堀 智仙(◎) 名和 利夫(○)
- 小林 孝夫 松原 和生
- 木野村英機 野々村聖子
- 山吉 りか

### ●広報通信作成部会

- 事務局(◎) 吉田 尚弘(○)
- 鈴木美美子 武井 英男

◎はリーダー ○は副リーダー

秋の一日、名古屋城下の古い町並みと絞りのまちを訪ねます。

# 日帰りバス視察研修・有松

まちづくり会員2,000円 非会員3,000円 中学生1,000円 家族は会員と同じ

## 11月8日

- 日帰りバス視察研修の参加者を募集します
- 申込締め切りは10月18日(定員になり次第締め切り)
- 申込は左下の申込用紙を堀会長(大宮町1)へ
- 参加費は当日のバスの中にて徴収します

### 絞会館・川上貞奴屋敷跡へ

本年度、井の口まちづくり会のメイン事業であります「日帰りバス視察研修」の参加者を募集します。本事業は、他地域の先進のまちづくり会活動にふれ、井の口まちづくり会の活動に生かせるよう探ることを目的としています。

視察先の有松は、東海道の茶屋町として始まり、絞りという伝統産業により発達したまちです。今も当時の面影を残した豪壮な町屋建築が建ち並び、まちづくり会活動が盛んに行われている地域でもあります。

到着後は、有松案内人(あないびと)の会のメンバーと交流会をもち、その後、有松のまちを案内していただきます。鳴海絞会館では、絞りの実演見学やお買い物もできるよう長時間の滞在を予定しています。

昼食は有松内のお蕎麦屋でいただきます。昼食付きの視察研修です。

午後からは、名古屋城下の古い町並みが残る白壁・主税町地区へ足を伸ばします。一葉館(旧川上貞奴邸)、撞木館に入館し見学をします。

さらに、旧豊田佐助邸も近く、この辺り一帯は「文化のみち」と称する町並み散策コースになっています。都市高速の高架と高層マンションが覆っていますが、武家屋敷を思わせる門構えの豪邸や広い敷地の高級住宅が建ち並び、市政資料館として公開されている洋風建築の旧裁判所が威光を放っています。自由時間を用意しますから、歩いてみてはいかがでしょうか。

車中での飲食はご自由です。会で飲物とお菓子も用意します。また、行きの車中では視察地の事前説明をいたします。帰りは、視察地の感想をアンケート形式に記入していただきます。筆記具を忘れずにお持ちください。

多数の皆さまのご参加をお待ちしています。お申し込みは中学生以上、10月18日までとなりますが、定員になり次第締め切ります。

### 妙照寺土塀改修完成

当山の土塀は創業以来250年を経て最近特に老朽化が進み、景観上大変ご迷惑をおかけしておりました。

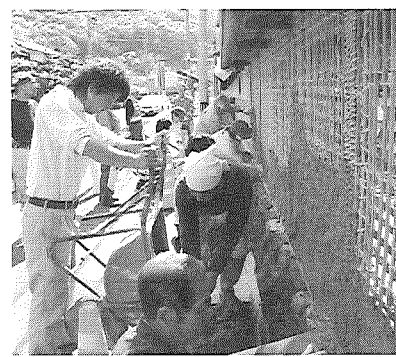
この度、市・ふれあいまち公社のご理解とご協力をいただき、無事修復工事が完了いたしました。

4月29日には、好天に恵まれ、沢山の方が「ひとこた」に参加していただき、ありがとうございます。

泥にまみれ、皆さんで塗っていただき、心のこもった土塀になりました。これからも、この土塀を思い出す一端としていただけたらと思います。紙面をお借りして御礼申し上げます。

妙照寺住職 堀 智仙

### しっくい塗りイベント



4月29日に行われた「しっくい塗りイベント」の様子

### 句碑めぐり勉強会

#### 11月23日(祝)参加者募集

9時30分 伊奈波神社広場 集合  
講師・インストラクター 大野鶴士先生

- 行程 伊奈波神社広場(スタート)→妙照寺(入室)→岐阜公園→鶴飼乗船事務所(お昼前解散)

松尾芭蕉が妙照寺に滞在し、この地に多くの俳句を残したことは皆さんよくご存知ですが、一歩進んで、俳句の世界を覗いてみませんか。

今回、大野鶴士先生をお招きして、この地に残る句碑を巡りながら、俳句の勉強会を企画しました。当日の朝、伊奈波神社広場へ集合してください。

なお、井の口まちづくり会では、来春妙照寺での句会を企画しており、今後「俳句入門講座」「俳句を作ってみようの会」を開催していきます。

「井の口文化人」を目指しましょう。

### 「御鯨街道ウォーク」

#### 歴史探訪型ウォーク 10月17日(土)

#### 参加費無料(途中参加・離脱自由・小雨決行)

岐阜市制と笠松町制120周年を記念して、従来は笠松町あるいは白山地区において行われてきた鮎鯨街道ウォークを、今年は街道の全地域での取り組みとし、西野自治会連合会会長を会長とした実行委員会を立ち上げて実施します。

- 行程 9:00 受付 川原町鶴飼乗船事務所前
- 9:30 川原町 開会と出立イベント
- 10:20 井の口 御鯨所跡にて献上鮎鯨の解説
- 10:55 伊奈波 白木町公園(トイレ休憩)
- 11:20 美園 御菌の榎前で楽市楽座の解説
- 12:00 白山 溝端公園(ランチタイム)各自弁当持参、鮎焼き出店
- 13:00 再スタート 溝端公園
- 13:30 加納 茶所駅手前の神社で解説
- 14:25 川手 鮎鯨荷を笠松勢にバトン
- 14:35 茜部 境川橋南脇
- 15:00 笠松 福祉会館(トイレ休憩)
- 15:25 問屋場 高嶋家にて宿次の解説
- 15:55 木曾川湊 到着イベント・鮎雑炊

### 日帰りバス視察研修 参加申込書

氏名			
住所	TEL — —		
同行者名			
参加費	会員2,000円 名	非会員3,000円 名	中学生1,000円 名
	家族2,000円 名		

事務局長 河崎良史

アメリカの政治がチェンジして日本の政治もチェンジしました。体制がチェンジしたら、中身がどのように変わっていくのか、じっくりと拝見させていただくこととして、「まち」は進化すべきところ、変わらないうことをよしとするところがあると思います。

金華地区は街区の骨組みが形成されてから極めて変化が少ないまちです。それが脈々と歴史と文化を継承できた要因の一つでしょう。

今、妙照寺辺りから大仏殿前を経由して萬松館辺りまで道路の拡幅事業が進んでいます。この事業はまちの大きなチェンジといえます。交通量の割りに歩道が狭く、散策するには適さないこの道が、まちの魅力を高めるためのチェンジになれば素敵な変化になるでしょう。

まちづくりとは、個の自分がまちにどんな貢献ができるか考えて行動することだと思えます。このまちを愛する気持ちが行動の原点になるはず。みんな考えてみてはどうでしょうか。

### 事務局だより